

# グローバル化と仕事の世界

## 使用者の立場から



金 榮培 (経済学博士)

# 目次



1. グローバル化の概念と状況
2. グローバル化による経済的・社会的影響
3. 将来的に望ましい方向

# グローバル化の概念



## グローバル化：世界経済の統合の過程

情報通信技術

国際貿易量

開発途上国における貿易量 / GDP:  
33.8% (1990年) → 48.9% (2001年)

海外直接投資

US\$ 3,240億 (1995年) → US\$ 1兆5,000億 (2000年)

短期資本移動

US\$ 600億 / 日 (1983) → US\$ 1兆5,000億 (2001年)

# グローバル化による経済的・社会的影響



表 1 主要地域における失業率

(単位: %)

地域	1987	1993	1997
西欧	10.4	10.6	10.5
米国	6.2	6.9	4.9
日本	2.8	2.5	3.4
アジア	4.3 (1990)	4.4	4.2 (1996)
中南米	5.7 (1990)		7.4

注: 表中の「アジア」に日本、中国、インドは含まれていない。  
出典: ILO、1998年

# グローバル化による経済的・社会的影響



表2 先進工業国における所得格差(D9 / D1)の傾向

年	米 国	英 国	スウェーデン	ドイツ	フランス
1980	3.26	2.79	2.04	2.69	3.26
1990	3.96	3.29	2.01	2.51	3.26
1995	4.35	3.38	2.13	2.32	3.28

注：D1およびD9はそれぞれ最低および最高の所得階層を表している。  
出典：ILO、1998年

# グローバル化による経済的・社会的影響



**表3 最も豊かな国家と最も貧しい国家における  
1人当たりGDP**

(単位: US \$、倍)

	1960 - 1962	2000 - 2002
最も貧しい20カ国 (A)	212	267
最も豊かな20カ国 (B)	11,417	32,339
比率 ( B / A )	53.9	121.1

出典: 世界銀行、2003年

# グローバル化による経済的・社会的影響



表4 韓国における事業所の規模別に見た賃金格差

(単位:千韓国ウォン/月)

	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003
<b>中小企業</b> (従業員数 10～29人)	308 (100)	549 (100)	1,082 (100)	1,497 (100)	1,606 (100)	1,705 (100)	1,808 (100)
<b>大企業</b> (従業員数 500人以上)	344 (111.7)	741 (140.0)	1,511 (139.6)	2,195 (146.6)	2,313 (144.0)	2,718 (159.4)	3,043 (168.3)

注:( )内の数字は中小企業と比較した場合の比率

出典:韓国労働部「毎月労働統計」各年

# グローバル化による経済的・社会的影響



表5 韓国の製造業における事業所の規模別に見た収益性

(単位:%)

	売上高経常利益率		売上高営業利益率	
	2002	2003	2002	2003
大企業	5.4	6.0	7.5	8.2
中小企業	3.4	2.5	5.3	4.6

出典:韓国銀行

# グローバル化による経済的・社会的影響



- 実際は、
  - グローバル化への適応に失敗したことで、経済的な不公平性が生じた。
  - グローバル化は概して人類の繁栄を後押しした
  - グローバル化は雇用創出、生産性向上、経済成長を促した
  - 世界の総生産額は過去50年間で10倍に増加し、1人当たり所得は人口激増のなかで3倍に増加した。

# 韓国におけるグローバル化



- 韓国におけるグローバル化に対する障害
  - 不安定な労使関係
  - 硬直した労働市場
  - 過度の行政介入および規制
  - 高い管理費と人件費
  - 高すぎる住居費
  - 季節労働者に対する労働組合の排他的態度
  - 労働運動家や市民団体による反グローバル化感情

# グローバル化に対処するための手掛かり



法律・制度面  
での変化

認識・習慣・  
行動面での変化

グローバル化  
への適応